

■淡路三原高校の学生が、地元企業の魅力を映像化！

淡路三原高校では、社会の仕組みや地域の魅力・課題を知ることを目的に、探求学習を行っています。取り組みを進める中で、学生たちは「自分たちも地元企業のことをあまり知らない。まずは自分たちが地元企業を知り、魅力を発信することで、同年代の学生も含め、より多くの人に地元企業を知ってほしい。」という思いから、本コンソーシアム参画企業にご協力をいただきながら、学生自らが企画・撮影・編集し、企業紹介動画を作成しています。



【高校生のコメント】

実際に訪問してみて、職場内の明るい雰囲気が伝わってきました。動画を通して、島内外の人に地元企業のさまざまな魅力をアピールしたいです。

企業をより深く知るため、実際に働いている人に取材中
(協力企業:(株)うずのぐに南あわじ)

【高校生のコメント】

市内有名な商品を製造する機械を作っている企業があることを初めて知りました。
みんなが働きやすい環境をつくるためにいろいろな取り組みをしていることを伝えたいです。



【高校生のコメント】

自分が生まれ育ったまちの企業について、知らなかったことが多くありました。動画を通して、将来的にこのまちで働きたいと考えている人に、地元の魅力ある企業を広く知ってほしいと思いました。



今後の展望

だれもが働きやすく、家庭と仕事の両立ができる職場づくりは、地域の未来を支える大切な取り組みです。子育て応援コンソーシアムでは、わたしたちのまちが「子育ての喜びが見えるまち」になるよう、企業、学生、行政が連携し、互いに学び合いながら、より良い職場環境の実現を目指しています。

これから多くの市内企業・事業所にこの取り組みに参加いただくとともに、そこで働く市民の皆さんも働きがいのある職場環境づくりへ地域一丸となって進めていきましょう。



市ホームページ

コンソーシアム

— 子育ての喜びが見えるまちへ —

問ふるさと創生課☎ 43-5205

■子育て応援コンソーシアムとは

企業、学生、行政などが一体となり、「若者や子育て世代に選ばれるまち」を目指し、令和5年度よりプロジェクトがスタート。家庭（子育てや介護など）と仕事を両立し、働きがいのある職場環境づくりを推進しています。

■子育て応援コンソーシアムでの取り組み

南あわじ市では、子育て応援コンソーシアムを通して、企業や学生と一緒にさまざまな取り組みを行っています。今回ご紹介するのは、企業における業務改善のための「カエル（変える）会議」の実践と、淡路三原高校の学生による地元企業の魅力紹介動画の制作についてです。

■「カエル（変える）会議」の実践

南あわじ市役所とパナソニックエナジー南淡株式会社の2社で実践中です。まず現場のチームがより良い仕事をしていくために、自分たちがどんなふうに働いていくといいのかチームのありたい姿（目標）を話し合いました。実践し始めたことで、部署内の関係性を深めることができたり、業務の属人化や偏りといった課題を再認識し「チーム全体の課題共有は一人ひとりの意識や行動を変えるために必要」という気づきを得たりしています。



【実践者のコメント】

これまで漠然と感じていたことを付箋に自分の意見を書くことで、課題を可視化することができました。会議の中で、課題解決のための具体的な行動まで話し合えたので、まずはできるところから取り組んでいます！



【実践者のコメント】

普段のコミュニケーションだけではわからなかったチームメンバーの思いを知ることができました。会議をきっかけに、チーム全体が「変える」意識をもって仕事に取り組むようになりました。